

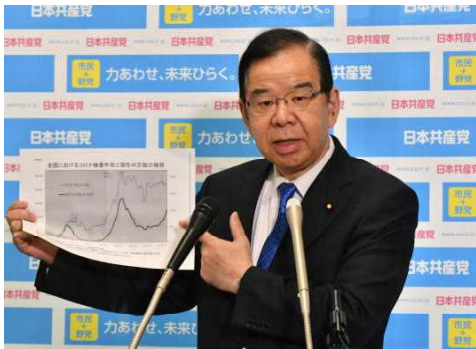


志位和夫 はたの君枝 さいとう和子 沼上とくみつ

発行 日本共産党国会議員団
2020年11月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F Tel 045-324-6516

国会活動報告

「第3波」到来を直視し、「検査・保護・追跡」の抜本的強化を



志位和夫委員長は11月12日記者会見し、「感染拡大の『第3波』到来を直視し検査・保護・追跡』の抜本的強化を」との提言を発表しました。

提言では、新規陽性者数がたびたび1,000人を超え、東京では12日に400人に迫るなど、『第3波』の感染拡大が起こっている事を指摘。菅首相が「最大限の警戒感」を呼びかけ、政府の感染症対策分科会の「緊急提言」も出されたが、「従来の対策の延長線上にとどまっている」と指摘しました。

PCR検査も8月のピーク時を下回ったままで、「これでは、感染の封じ込めは到底できない」として、爆発的感染を抑止するための緊急の対応をとるよう求めています。提言の緊急対応の内容は、(1)「大規模・地域集中的検査」「社会的検査」の推進、(2)感染追跡の専門家を確保し、保健所の体制を抜本的に強化する、(3)医療崩壊を起こさないために医療機関の減収補てん、宿泊療養施設の確保、の3つの項目で、各項目で具体的な対応策を示しています。

千葉でオスプレイ撤回集会 志位委員長があいさつ

陸自木更津駐屯地に配備されたオスプレイが試験飛行を始めた中、11月7日に船橋市で「オスプレイいらない！習志野・八千代・船橋市民集会」が開催されました。

主催者である市民ネットの吉沢共同代表が「事故を繰り返す欠陥機オスプレイをなくすため、政党、市民がスクラムを組みたたかい続けよう」と呼びかけ、日本共産党、立憲民主党、社民党、新社会党、れいわ新選組、市民ネットワーク千葉県、緑の党の代表があいさつしました。さいとう和子衆院比例予定候補(千葉7区重複)や県内の小選挙区候補、地方議員も参加しました。

志位氏は試験飛行に抗議し、▲木更津駐屯地で新たな格納庫も整備し、「暫定」でなく恒久配備の危険がある、▲海兵隊、米空軍、米海軍、そして自衛隊も17機を配備し、木更津が日米オスプレイの巣窟になる等、現在の動きについて具体的に告発しました。また、習志野・八千代・船橋の3市長が防衛省に説明を求めていることを紹介し、「日本のどこの空にもオスプレイはいらない。力を合わせ配備を撤回させよう」と訴え、そのためには、菅政権を交代させるのが一番の解決策だと強調しました。

千葉市民団体が駐屯地に要望書 11月7日、上記の市民集会に先立って、「オスプレイいらない！習志野・八千代・船橋ネットワーク」は、陸自習志野駐屯地の堺司令あてに要望書を提出しました。参加者は、同習志野演習場でのCH47ヘリコプターの騒音に日々悩まされており、度重なるパラシュートの場外降着事故への不安を訴えました。その上で、▲習志野演習場へのオスプレイ飛来と訓練中止、▲自衛官をオスプレイに搭乗させない、▲住民の声を防衛大臣に確実に届けて欲しい、などを求めました。



神奈川・千葉の共産党 政府2021年度予算に要望

オスプレイの飛行やめよ

党千葉県委員会が11月11日、来年度予算について政府に要望しました。さいとう氏、各衆院小選挙区候補、地方議員らも参加し、はたの君枝衆院議員と沼上とくみつ衆院比例予定候補が同席しました。

参加者は文科省に対し、新型コロナについて「感染予防対策で学校教職員が疲弊している」「学生が安心して通える場を」などと訴えました。担当者は「学生支援諸施策を確実に実施する」と答えました。来年開催予定の武器見本市の開催について防衛省は、「防衛装備移転三原則にそって一体の取り組みが必要だ」と強弁。陸自オスプレイの飛行計画については説明をさげました。厚労省にはPCR検査の拡充や医療機関への財政支援を要望。また、昨年の台風・豪雨被害の自治体への支援についても強く要望しました。



(前列右から)みわ由美県議、はたの氏、川副県党副委員長、小倉県党委員長、沼上氏、さいとう氏、椎名史明千11区予定候補、高橋敏千8区予定候補、浅野ふみ子千5区予定候補、安田美由紀南房総市議ら

学生の援助急げー神奈川



(前列左から)山田正神17区予定候補、山田和江箱根町議、佐野昭弘神13区予定候補、沼上氏、はたの氏、さいとう氏、君嶋ちか子、大山奈々子、上野たつやの各県議ら

党神奈川県委員会は11月9日、国会内で各省庁に対して、来年度の政府予算に関する要望書を提出しました。はたの氏、さいとう氏、沼上氏、県内の衆院小選挙区予定候補、地方議員団、民青同盟神奈川県委員会らが参加しました。文科省に対しては、20人以下での授業のための教員10万人増、学習支援員配置等を早期に実施することを要望。県民青同盟は、大学生へのアンケート調査で、対面授業再開を熱望する声や学費の値下げの求めが数多くあったことを紹介、コロナ禍での学生の切実な実態を訴えました。はたの氏は、学生への経済援助を早急に実施するよう求めました。

厚労省には、感染リスクのある地域や業種に対して「面の検査」を行うこと、多大な影響が出る医療・介護施設や学校などに対し「社会的検査」を行うことなどを求めました。

オスプレイ訓練中止を 防衛相に共産党神奈川県委



(前列右から)河治民夫市議、加藤なを子県議、宇佐美さやか市議、山田正氏、明石ゆきお神2区、木佐木ただまさ神3区、佐野昭弘神13区各予定候補、沼上氏、さいとう氏、はたの氏

党神奈川県委員会と神奈川県議団は9日、岸防衛相にあて、陸上自衛隊オスプレイの飛行情報提供と飛行訓練中止を申し入れました。千葉の陸自木更津駐屯地に配備されたオスプレイが6日に飛行訓練を始め、10日以降に駐屯地外の関東周辺に飛行範囲を広げると通告したことをうけたもの。はたの氏と、さいとう氏、沼上氏、県内の衆院小選挙区候補、地方議員団らが参加しました。参加者は「東京湾南部や相模湾の周辺地域には住宅や学校、病院などがあり、絶対に訓練地域にしてはならない」と抗議。▲実際に訓練を行う空域の公開、▲訓練・飛行する関係自治体への通知の詳細、▲防衛相が「オスプレイの安定性が証明されている」としている根拠と資料の開示等を要請し、訓練飛行の中止を求めました。応じた防衛省の担当者は「10日は東京湾南部や相模湾上空を飛行し、基本的には海上を飛行する」「現時点で陸自オスプレイが日米合同訓練に参加する計画はない」と答えました。

コロナ対策4次要望書 山梨知事に共産党県委など

党山梨県委員会とごし智子県議は11月10日、知事に新型コロナ対策に関する要望書(第4次)を提出しました。木内直子甲府市議も参加しました。要望書は、県内でも感染者が拡大傾向にあることを指摘。医療提供体制の確立と検査体制の拡充を求めるとともに、雇用調整助成金の特例措置など年末で終了する経済対策の継続・拡充など30項目を要望しました。花田委員長は「甲府市中心部でも飲食店の廃業が相次いでいる。県としての休業補償や労働者への休業支援金制度の継続が必要だ」と語りました。



(左から)木内直子市議、花田県党委員長、ごし智子県議=11月10日甲府市